

業務に対する基本姿勢

令和6年度からの赤坂・青山子ども共育事業を展開するにあたり、どのように赤坂・青山地域の特性や要望を踏まえ、地域の企業・団体等と協働して地域ぐるみで子どもを育てる環境の整備へつなげていくか、また、区と連携し地域の要望を把握しより良い事業とするために意見を反映させていくか、その際には令和6～8年度の3年間の見通しを入れたうえで、基本的な姿勢や考え方を述べてください。

(1) はじめに

これまで、代表事業者の日本ラグビーフットボール協会は、2009年に港区と締結した「連携協力に関する基本協定書」に基づき、年齢・性別・障がいの有無に関わらず参加できる定期的なラグビー教室等を区内で開催・運営し、

また共同事業体の構成事業者となるサントリーホールディングス株式会社も、2020年に締結した港区との「地域社会の発展に関する包括連携協定」に基づき、東京サントリーサンゴリアスの港区オリジナル算数ドリルの制作や、小学校でのラグビー教室、地域コミュニティイベントへの参加など、港区において様々な取り組みを実施してまいりました。

この度、本事業のプロポーザルへエントリーするにあたり、港区と連携協定を結ぶ団体が1つのコンソーシアムとなる事で、スポーツ振興、地域振興、及び教育等の分野において、両者の知的、人的、及び物的資源を大いに活用し、地域の団体・企業として積極的に港区、赤坂・青山地域の発展に貢献してまいります。

(2) 赤坂・青山地域の特性

赤坂・青山地域は、ラグビーの国際試合をはじめ多くの試合が開催される秩父宮ラグビー場や、神宮球場などがあるスポーツの聖地であり、ファッションや文化（美術・音楽）でも老若男女を虜にして離さない魅力を発信している街です。一方、“赤坂をどり”など日本の伝統芸能を継承している街でもあり、さらには大使館が多く存在するなど国際性も備えた地域です。

子どもたちを地域で見守り育てる事業「共育」を運営していく上で必要な資源（スポーツ、音楽、ファッション、芸術、伝統文化、国際性など）に大変恵まれており、他に類を見ない稀有な地域だと考えております。

(3) 「“共”に“育”てる」環境の整備

地域の団体、企業等が“共”に地域の子どもの“育”てる仕組み・環境づくりを目指す共育事業において、上記の環境を整備するためには、「企業・団体側の地域への参画・貢献意識」と、講座に参加する子どもが、興味のある事に継続的に関わる事ができる「受け皿の整備」が大切であると考えます。

講師となる企業・団体に対しては、事前準備の段階で共育の趣旨を理解いただいた上

で、地域の一員として講座を担当・登壇いただき、また、企業・団体側が体験機会を提供した後、「驚き・感動・気づき」を得た子どもが「自ら考え、行動」した先に、例えば習い事であるなど、興味を持った事を継続できる環境（受け皿）を準備しておくことが、子どもが地域社会に入り込むきっかけとなり、また、結果的には共育が持続可能な事業へ発展する事に繋がると考えております。当グループも地域の一員として、本事業のお力になりたいと考えております。

（４）地域の企業・団体との相互理解・コミュニケーション強化

共育事業の趣旨に賛同し、講座企画等へご協力いただいている「共育連絡会」の企業・団体の存在は大変貴重であり、彼らのような地域への貢献意識が高い企業・団体を拡大していくことが、地域ぐるみで子どもを育てる環境の整備に繋がっていくと考えております。

そのためには、連絡会を情報共有の場だけにせず、お互いの参加目的・地域活動における課題など、相互の理解を深めるためのコミュニケーションの強化が必要であり、具体的には、ニーズの多い「地域の子どもが通う学校・児童館の担当者と繋がれる場」として連絡会の場を提供したり、新たなニーズをヒアリングするため、極力対面でのご参加を促すことも、1つの手段であると考えております。

また、連絡会の団体と連携を密にすることで、共育の理念に賛同いただけそうな企業・団体を新たに紹介いただくなど、連絡会の拡充も同時に図ってまいります。

共育情報局のホームページ・各講座の告知チラシの空き枠では、「共育連絡会」参加企業・団体の活動報告やイベント等の広報に役立ててもらえるよう、掲載案内を促します。

（５）講座及びプログラム立案における方針

共育事業の中心となる講座の企画において、当グループは「楽しさ」の中に「学び」を見つけてもらえるような企画・立案を行います。

「驚き・感動・気づき」が得られる講座は、子どもが純粋に「楽しい」と思い、夢中になる事と、新たな発見「学び」がある事の、両方が必要であると考えております。講座終了後、「楽しかった」だけで終わらず、「驚き・感動・気づき」を、時に親子で持ち帰ってもらえるような講座・及びプログラムの考案を心がけてまいります。

※A4サイズ2枚・両面4ページを上限とします。

※補足資料を添付する場合は別途A4サイズ1枚片面までとします。

※「BIZ UD ゴシック」12Pt、白黒で作成してください。

※イメージ・写真の使用等は自由とします。

企画内容の評価

事業の企画・実施

事業内容について、詳細を企画提案してください。

なお、提案にあたっては以下の項目について記述してください。

(1) 講座の企画・運営

提案にあたっては、下表を参考とし、各項目が分かるように記述してください。

①～⑥以外で、講座の提案事項がある場合は、⑥以降に記述してください。

また、文化講座は6講座、スポーツ講座は2講座を提案してください。

文化講座の6講座は、対面形式・オンライン形式・対面とオンライン双方を活用した形式にそれぞれ分けて提案してください。なお、オンライン形式の講座の提案は、その環境の整備も含んだ説明としてください。

①タイトル	講座のタイトル
②ジャンル	文化系やスポーツ系のどのようなジャンル・種目の講座か
③対象	小・中学生（小学生のみ・中学生のみ・親子を対象とした講座は少なくともそれぞれ1つずつ提案してください。それ以外の講座は複数にまたがっても構いません。）
④講座の内容	どのような内容で、どのような講師を招へいするのか
⑤狙い	講座をその内容や講師とした狙い
⑥事業の目的との結びつき	その講座が共育事業の目的にどう結び付くか

(2) 共育情報局の運営

(3) 魅力的な講座となるアイデアや効果的な集客につながる広報・周知上の工夫、その他
自社の強みを事業に生かすうえでのアイデア

① タイトル	【講座企画①】 自分の走り方を分析しよう！ 東京サントリーサンゴリアスによるラグビー体験 &走り方分析講座
② ジャンル	スポーツ講座（ラグビー／陸上）
③ 対象	小学生・中学生
④ 講座の内容	<講師候補> ・東京サントリーサンゴリアス 所属選手 ・日本ラグビーフットボール協会 所属コーチ    <内容> ラグビー体験&走り方分析講座 ・デモンストレーション ・ボールを使ったペアウォーミングアップ ・タックル／パス／キック体験 ・EPSON 社のセンサー&GPS 技術をつかって、走る時の「正しい動作」を身に着けよう
⑤ 狙い	・トップアスリートから身体を動かす楽しさと、仲間とボールを繋いだりする体験を通して、チームスポーツの面白さを伝える。 ・サンゴリアスの下部組織であり、選手育成を目的としたアカデミーで取り入れられている、EPSON 社のセンサー・GPS 技術の体験を通して、効率的なトレーニング方法に触れる機会を提供。 ・地域特性を活かしたスポーツ。（秩父宮ラグビー場） ・ラグビーワールドカップ 2019 のレガシーとして、赤坂・青山地域に根付き始めたラグビーを活用し、子どもたちの心身の健全育成と、地域（秩父宮）に対する誇り・愛着を醸成する。
⑥ 事業の目的との結びつき	・チームスポーツを通して仲間と協力する協調性、コミュニケーション能力を育成。 ・競技を通じて身体能力の向上と、礼儀、挨拶などの社会性、マナーやフェアプレーの精神を育成。

① タイトル	【講座企画②】 必修カリキュラムの「ダンス」に挑戦！ サンロッカーガールズと親子でリズムダンス体験講座
② ジャンル	スポーツ講座（ダンス）
③ 対象	小学生・親子
④ 講座の内容	<講師候補> サンロッカーガールズ（サンロッカーズ渋谷） <内容> サンロッカーガールズにダンスの基礎を教わりながら、その後グループごとに分かれて発表するダンスに挑戦。グループごとにより良いダンスを披露するため、親子や参加者同士でお互いに教え合うようなプログラムに。
⑤ 狙い	・小中学校の必修カリキュラムである「ダンス」をダンスのプロフェッショナルから教わることで、表現力や想像力、仲間を応援し元気づける等のコミュニケーション能力を育む機会を提供。
⑥ 事業の目的との結びつき	・スポーツ、身体を動かす事の楽しさを体験するきっかけの創出。 ・親子で参加できる講座とし、多世代交流の機会を創出。 ・試合会場（青山学院大学）へ会いに行ける方を講師とすることで、地域への愛着醸成・地域活性化につなげる。

① タイトル	【講座企画③】 伝統文化×国際交流 地域の外国人と一緒に教わろう！ 赤坂芸者衆による咸臨太鼓教室
② ジャンル	文化講座（伝統文化・国際交流・多様性の尊重） 実施方法：対面形式
③ 対象	小学生・地域に在住の外国人
④ 講座の内容	<講師候補> 赤坂芸者衆・福原百之助先生 一般財団法人 港区国際交流協会    <内容> 毎年恒例となっている「赤坂芸者衆」と赤坂伝統の太鼓「咸臨太鼓」を体験・演奏する講座に、地域にお住まいの外国人も一緒に参加いただき、伝統文化×国際交流をテーマとした講座を開催。 1つの課題曲を一緒に練習・演奏することを通して、子どもたちには外国人との交流体験を、外国人には日本及び赤坂地域の文化に触れていただく機会を創出。
⑤ 狙い	・全国の大使館のうち約半数が所在する港区、地域に住む外国人との交流体験から、多文化共生社会であることを実感してもらう。 ・例え英語が堪能でなくても、海外の方と太鼓の演奏を通して交流・コミュニケーションができる事を気づき、実感してもらう。
⑥ 事業の目的との結びつき	・地域に住む外国人に、子どもと一緒に赤坂地域の文化に触れていただく機会を通して、“共に“育”てる地域の一員である気持ちを醸成する。

① タイトル	【講座企画④】 香りだからその価値のつくり方・届け方を学ぼう ルームディフューザーづくり&プロモーション体験講座
② ジャンル	文化講座（職業体験・サイエンス） 実施方法：対面形式
③ 対象	中学生のみ
④ 講座の内容	<講師候補> 株式会社フィッツコーポレーション 職員 <内容> ・香りの会社ってどんな仕事をしているの？ ・オリジナルディフューザーづくりを体験しよう！ 香りの商品を企画開発・PR・販売する企業の取り組みや、学校では学ぶことのできないマーケティングの考え方を学習し、誰に何をどのような形で届けるのかという視点をもって、ディフューザーづくり体験を行う。
⑤ 狙い	・興味関心の高いモノづくり×大人や中学生にとっても学べる、専門性のあるテーマの講座で参加者の年齢幅を拡大する。 ・仕事や働く事について学び、体験することで、子どもたちが将来について考える際の視野を広げる。
⑥ 事業の目的との結びつき	・地域の企業、特に地域貢献活動に熱心な企業を講師として迎えることで、参加者の地域企業への興味関心・愛着醸成につなげる。

① タイトル	【講座企画⑤】 身体の仕組みと怪我の予防・治療について学ぼう スポーツ医学体験講座
② ジャンル	文化講座（医学・職業体験） 実施方法：対面形式
③ 対象	小学生・中学生・親子
④ 講座の内容	<講師候補> 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会 メディカル委員会 <内容> 常に怪我と隣り合わせの競技であるラグビーを担当するトレーナー・ドクターより、身体の仕組みや、怪我の予防になるスポーツテーピングの技術、担架の使い方、けがから復帰するためのリハビリテーションなどについて、実際に体験しながら学ぶ医学講座。 講座を通して、スポーツする人を支えるトレーナーの仕事にも触れていく。
⑤ 狙い	・エビデンス（科学的根拠）に基づいた説明で、世の中にある曖昧な健康知識と、医学的な見解の違いに気づいてもらう。 ・専門性が高く、健常者にとっては多くが日常生活で触れることのない医学の領域に、興味・関心を持ってもらうきっかけづくりとして。
⑥ 事業の目的との結びつき	・スポーツ選手だけでなく高齢者にも必要とされるリハビリのノウハウに親子で触れることで、参加者自身の家族のことも考えてもらい、多世代交流のきっかけに。

①タイトル	【講座企画⑥】 金魚ねぶた作り＆お囃子体験講座
②ジャンル	文化講座（伝統文化体験） 実施方法：対面形式
③対象	小学生のみ
④ 講座の内容	<講師候補> AoMoLink～赤坂～ 東京ねぶた連合会（青森市観光大使） <内容> ・青森ねぶた祭ってどんなお祭り？ ・大きな「ねぶた」は何で出来ている？ 金魚ねぶた作りワークショップ ・お祭りの音楽に触れてみよう！ 「らっせ～ら～」お囃子体験 など
⑤ 狙い	・講座を通して、日本の伝統的なお祭りの起源、受け継がれている職人の技、ねぶたのお囃子・跳人を通して生まれる一体感などを体験。日本の伝統文化を「見て」「聞いて」「作って」「踊って」みることで、驚き・感動・気づきを提供する。
⑥ 事業の目的との結びつき	・赤坂にしながら青森のモノ・コト・ヒトに触れる事ができる、青森のアンテナショップ AoMoLink～赤坂～と、赤坂の町会や茜まつりでも囃子・跳人を披露する東京ねぶた連合会と連携した講座で、参加者の赤坂・青山地域への興味関心・愛着醸成につなげる。 - また、ねぶたを通じて一つになれる地域のお祭りに、子どもたちの興味喚起・参加を促すことで、赤坂・青山地域の活性につなげる。

① タイトル	【講座企画⑦】 家族と一緒に作ってみよう！ 親子ではじめてのそば打ち体験講座
② ジャンル	文化講座（料理／職業体験） 実施方法：オンライン形式
③ 対象	小学生・中学生・親子
④ 講座の内容	<講師候補> 東京都麺類協同組合三田支部 <内容> 参加者には各家庭から ZOOM で参加してもらい、オンライン形式で行う、そば打ち体験講座。 東京都麺類協同組合三田支部の方々から、そば・材料に関する知識や、技術の習得に何年も必要とされるそば打ちのコツ聞いた後、ZOOM でレクチャーを受けながら親子で協力してそば打ちを行う。 <オンラインの環境整備に関して> Wi-Fi 環境のある講師の諸室に、バックアップ用のモバイル Wi-Fi と、配信用の PC を 2 台以上揃え、Zoom のエンタープライズ（大企業向け）プランを使用し、参加者と接続を行う。 また、接続が不安定になりにくいよう、画面共有機能は最低限の利用とし、基本は映像による実演で講座を進行する。
⑤ 狙い	・繊細で奥深いそば打ちの体験を通して、集中力やこだわるマインドを醸成。また、誰かと一緒に作ったり、自分で作ったものを人にふるまう、一緒に食べるといった経験・喜びを感じてもらう。
⑥ 事業の目的との結びつき	・オンラインで各家庭から参加できるため、親子だけでなく、祖父母やご兄弟と一緒に参加し、そば打ちを体験することで、多世代交流の機会を創出する。

①タイトル	【講座企画⑧】 オンライン美術館探検&ワークショップ サントリー美術館
②ジャンル	文化講座（美術・芸術体験） 実施方法：対面・オンライン形式
③対象	小学生のみ
④講座の内容	<講師候補> サントリー美術館 スタッフ <内容> 対面&オンライン形式で行う美術館鑑賞と表現制作の講座。 サントリー美術館で開催中の展覧会を探検し、様々な美術品から知識や感情の気づきを得た後、レクチャールームで美術品の歴史や文化を学びながら、絵付けやガラスのかけらキャンドル制作を行い、探検や学びの中で得たものを自由に表現する。 ※オンライン参加の方は、制作キッドを事前に送付し、ZOOM を繋ぎながら各家庭で絵付け体験等を想定
⑤狙い	・「生活の中の美 (Art in Life)」を基本理念として掲げるサントリー美術館を訪問し、時代や文化の枠組みに縛られない「美」を感じ、知識や感動の幅を広げる。 ・多様な美のかたちから新しい発見や知的感動を得て、同時に、自分を自由に表現する楽しみに気付く。
⑥事業の目的との結びつき	・地域の企業・美術館を講師として迎えることで、参加者の地域企業への興味関心・愛着醸成につなげる。 ・講師・美術館側にとっても、普段は訪れる機会の少ない地域子ども達との接点づくり、“共育”の環境整備の1つとして。

※上記のほか、青山地域と歴史的背景から交流のある「岐阜県郡上市」などとの講座企画も可能です。

(2) 共育情報局の運営

■「共育連絡会」は、地域の子どもたちに関する情報を共有したいため、できるだけ小学校の先生が参加できる日程を選び開催します。

また、ZOOMを活用したオンライン会議を取り入れ、忙しい方も極力ご参加いただけるような環境を整えます。連絡会では大人たちが一堂に会して各々の専門性を発揮し、未来ある子どもたちのための検討会の場とします。

■共育情報局のホームページは、「共育連絡会」参加企業・団体の活動報告やイベント等の広報としても役立ててもらえるよう、適宜掲載募集の案内を促します。

(3) 魅力的な講座となるアイデアや多くの子どもが参加できる広報・周知上の工夫、その他自社の強みを事業に生かすうえでのアイデア

■SNS（Facebook）での講座の事前告知・実施報告はテキストと写真のみでなく、当日の実施内容や、共育の楽しい雰囲気が閲覧者により伝わるよう、適宜動画の投稿を行い、訴求力を高めます。

■過去の参加者へDMを送信し、講座の認知向上と参加を促します。

■講座をより魅力的なものとするためには、例えばいつもの小学校ではなく、講師の拠点、オフィスなどへ訪問する形での開催にすることで、講座に「非日常感」を感じてもらえるような企画を行ってまいります。

※A4サイズ5枚・両面10ページを上限とします。

※補足資料を添付する場合は別途A4サイズ1枚片面までとします。

※「BIZ UD ゴシック」12Pt、白黒で作成してください。

※イメージ・写真の使用等は自由とします。

業務実施体制

本事業について、以下の内容を含んだ進行管理及び業務実施体制を提案してください。

(1) 事業責任者及びスタッフの配置、その雇用形態

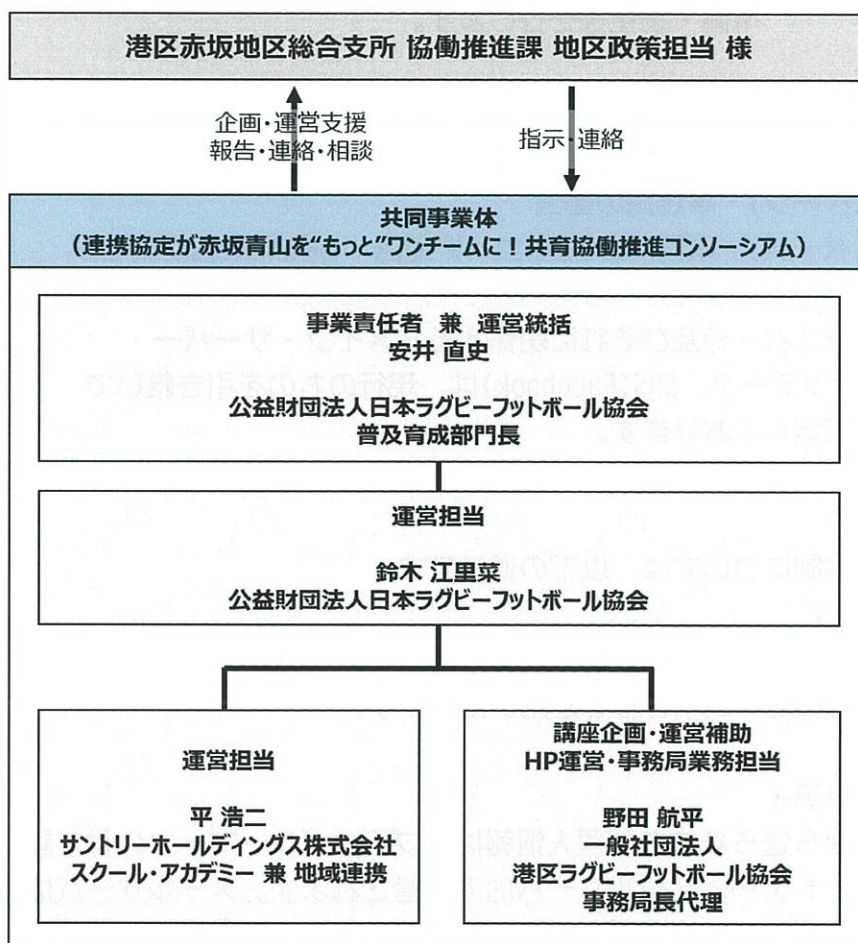
(2) 共育情報局（事務局）の運営及び情報の管理体制

①TEL ②FAX ③Mail ④HP ⑤Facebook ⑥その他（ ）

(3) 個人情報の取り扱い

(1) 事業責任者及びスタッフの配置、その雇用形態

当グループは、以下の体制で事業運営に当たります。



実施体制図

事業の運営において、主に上記担当が講座企画の立案、各種折衝、実施運営に携わります。なお、講座の運営補助、共育ホームページの運用・管理、申込受付・問合せ対応等の事務局業務は、共同事業体以外の外部パートナーとも連携し、事業を運営いたします。

- ・ 事業責任者 兼 運営統括・事業運営の責任者とし、
講座・イベント運営の統括・監督を行います。

- ・運営担当・・・・・・・・・・下記の補助担当と共同し、主に講座の立案、対外的折衝、講座の運営、共育連絡会の会場・時間の調整、オンライン会議の準備、開催連絡、開催時の議題、および資料の作成、議事運営を行います。

- ・講座企画・運営補助／
HP 運営・事務局業務担当

主に講座の立案補助、対外的折衝の補助、
講座の運営補助、チラシ作成、HP 運用管理、
事務局業務を担当します。

また、上記の運営担当者と共同し、連絡会に関する
準備・調整等を行います。

(2) 共育情報局（ホームページ）・事務局の運営及び情報の管理体制

①共育情報局（ホームページ）・事務局の運営

共育情報局（ホームページ）・事務局の運営は、HP 運営・事務局業務担当者が
当たります。

また、現行の公式ホームページ及びそれに関係するドメイン・サーバー・
WEB ページのコンテンツデータ、SNS(Facebook)は、現行のものを引き継いで
使用・更新する形を想定しております。

②情報の管理体制

事務局の情報の管理体制については、以下の通りです。

i) Web サイトについて

共育ホームページ、それに関係するドメイン・サーバー・WEB ページのコンテンツ
データ等は、現行のものを一式引き継ぎ運用いたします。

ii) メールのセキュリティ

Web 入力フォームから送られてきた個人情報は、プライバシーマークの付与認定
を受けている外部パートナーのメールサーバ内で保管されます。メールサーバは社
外から直接アクセスすることはできず、また、受信ボックスの起動にはパスワード
入力が必要とし、パスワードは関係者のみで共有いたします。

なお、事務局の連絡先は以下を想定しております。

- ① 電話番号：03-5232-6880
- ② Fax 番号：03-5232-0586
- ③ E-Mail：tomoiku@mindshare.co.jp
- ④ 公式ホームページ：<https://akasaka-aoyama-tomoiku.com/>
- ⑤ Facebook：

https://www.facebook.com/akasaka.aoyama.tomoiku/?ref=aymt_homepage_panel

※④⑤については現行のまま引き継ぎを想定

(3) 個人情報の取り扱い

個人情報保護基本方針について、
プライバシーマークの付与認定を受けている外部パートナーと連携し、
個人情報の収集、保管には細心の注意を払います。

「プライバシーマーク」

このマークは、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）が運用する
「プライバシーマーク制度」に基づいて、当社の個人情報の取扱いが
JIS Q 15001 「個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムの要求事項」に準
拠して、適正に行われていることを認定した証として、その使用を許可されたもので
す。

個人情報保護法にもとづき、個人情報について本人の同意を得ずに
第三者（業務委託先を除く）に開示する事は致しません。



※A 4 サイズ 3 枚・両面 6 ページを上限とします。

※補足資料を添付する場合は別途A 4 サイズ 1 枚片面までとします。

※「BIZ UD ゴシック」12Pt、白黒で作成してください。

※イメージ・写真の使用等は自由とします。

安全対策

本事業を実施する際の事故発生防止の取組、発生後の対応方法や保険等、様々な事態を想定したリスク管理について、事前・当日・事後のそれぞれの対応策を具体的に提案してください。対応策には、感染対策の取組も含むものとします。

◆事業運営上の基本的な考え方

事業運営において「緊急事態は起こりうるもの」という考えのもと、事前に緊急時の対応策を検討し、体制を作ってリスクの防止に努めます。また、安全対策には個人情報の取扱いも含むものととらえ細心の注意を払います。

- I) 人命を第一に考え、危険予知を事前に行い、危険の回避を図る方策と体制を整えます。
- II) 危険発生時の手順、情報伝達体制、役割分担等を明確にし、組織・体制を整え、危険の影響や被害を最小限にします。

◆事前、当日、事後の具体的な対処

(1) 事前

①ロケーションハンティングの実施

講座を実施する施設のロケーションハンティングを事前に必ず行い、避難経路、危険箇所や子どもたちが触れてはいけない設備・物品があれば張り紙を掲示したり、受付や講座中に注意を促すようにいたします。

②講師との事前ミーティングの徹底

例えば、講座中にはさみ等の刃物を使用するためケガをする危険性がある、ボールやラケットを使用するため他の参加者にケガをさせる危険性がある等、講座ごとによって想定されるリスクは異なります。そのため、各講座を担当する講師との事前ミーティングを徹底し、事前にリスクを洗い出したうえで講座の運営を行うように心がけます。

③悪天候が予想される場合

台風、大雨、感染症の流行などが事前に予想される場合は、実施前日 17 時までに予定されている講座の中止の判断を、支所のご担当者様と相談のうえ、行います。実施当日の判断が迫られる場合は、遅くとも実施の 3 時間前には判断し参加者へ連絡します。参加者へはこれらの連絡体制を事前にメール等で周知します。

(2) 当日

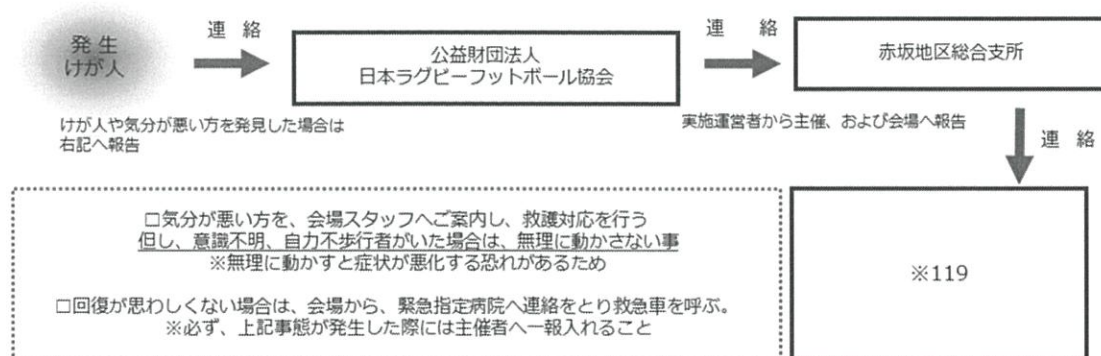
危険箇所や触れてはいけない設備・物品等があれば、受付時や講座開始時に注意

事項としてしっかり伝えます。その他注意事項には、緊急時の避難誘導のこと、使用道具の取扱いのこと、写真撮影とその取扱いのこと等が含まれます。

① けが人や急病人が発生した場合

主催者（赤坂地区総合支所協働推進課様）に連絡し、状況を共有して対応を協議します。ご父兄が見学していればご父兄とも相談します。必要に応じて病院への搬送等の手配を行います。

会場内で病人、けが人等が発生した場合、下記のような連絡・指示系統にて対応



② 不審物および不審者を発見したり、火災や事故等の緊急事態が発生した場合

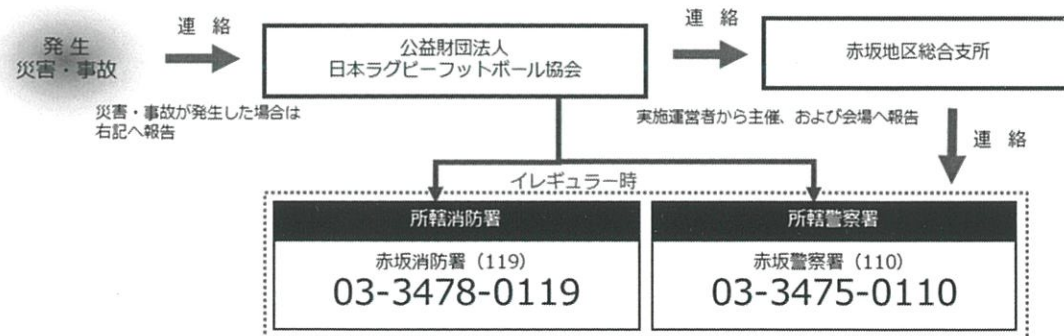
事態を確認のうえ、主催者に連絡し、状況を共有して参加者の避難指示や誘導、および消防署、警察署、病院への連絡等の対応を適宜行い、保護者に連絡します。

③ 講座実施中に地震・風水害が発生した場合

講座実施中に地震が発生した場合、講座を中止して事態が落ち着くまで施設内に留まり、保護者に連絡して、迎えに来てもらうまで参加者を保護します。地震の場合、施設の損壊が少ない場合は施設内に留まったほうが安全なケースもあるので、屋外への誘導は必要に応じて行います。

大雨・強風等の風水害が発生した場合、事態が落ち着くまで施設内に留まります。風水害が長時間に及びそうな場合は保護者に連絡をし、迎えに来てもらうまで参加者を保護します。

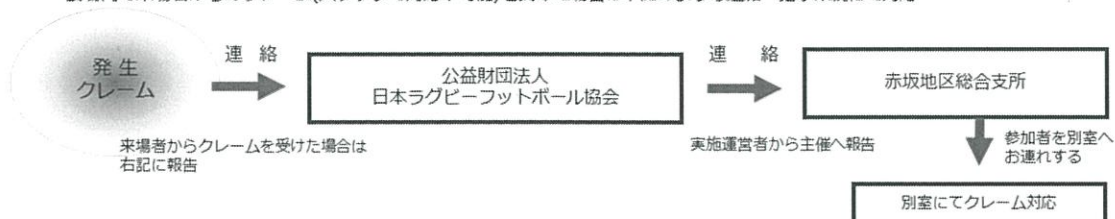
会場内で緊急事態が発生した場合、下記のような連絡・指示系統にて対応



④クレーム対応

講座実施中にクレームを受け、運営スタッフでの対応が難しい場合は支所のご担当者様に連絡・相談のうえ、別室にて対応いたします。

会場内で来場者からのクレーム(スタッフで対応不可能)を受けた場合は下記のような連絡・指示系統にて対応



(3) 事後

①講座実施中のけがへの保険対応

講座実施中にけがをした場合、次項で述べる保険の適用があることを保護者にお伝えすると同時に保険会社と対応を協議して速やかに対処します。

②忘れ物の対応

忘れ物がないように講座終了時に参加者に注意を呼びかけますが、忘れ物を発見した場合には、名前が確認できれば持ち主に連絡をし、名前が確認できなければ一週間ほど保管し、持ち主が現れない場合は講座実施施設の最寄りの交番に届けます。

◆傷害保険の加入

講座の運営に当たっては参加者の傷害保険に加入します。
傷害保険の補償内容について下記は想定とし、支所様と協議の上決定いたします。

傷害保険

死亡・後遺障害保険金額（1名分）・・・	5,000	千円
入院保険金日額（1名分）・・・・・・・・・・	2	千円
通院保険金日額（1名分）・・・・・・・・・・	1	千円

◆感染症対策について基本的な考え方

感染症の流行時には、拡大状況と、政府・自治体等の動向について確認を行い、状況に応じて講座の実施可否、オンラインの講座実施への切り替え、以下の具体的な感染症対策等は、都度支所様へご相談をしながら臨機応変にご対応させていただきます。

◆具体的な対策

(1) 事前

①メールでの感染症対策に関するご協力依頼

参加者への事前案内メールの中に感染症対策へのご協力依頼として、

発熱、又は発熱以外の咳、だるさ等の症状がある場合や、同居家族、身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は、当日の参加を控えるようご案内いたします。

また、参加される場合は下記当日の感染症対策にご協力いただくようご案内いたします。

(2) 当日

以下の対策は参加者のみでなく、保護者・運営側にもご協力いただく事項とします。

① 健康状態確認

受付時に検温を実施し、発熱以外の咳・だるさ等の症状がないかを口頭で確認いたします。体調不良が判明した場合、参加可否を支所様にご確認の上対応いたします。

② アルコール消毒液の設置・こまめな手洗いの推奨

講座の開始前にはアルコールでの手指消毒と、手洗いにご協力いただきます。

③ マスク着用

飛沫防止の観点より基本的に講座中はマスク・マウスシールド等を着用して行うものとします。ただし、熱中症の危険性が高まる夏の講座や、スポーツ講座での対応については、支所様と協議の上対応いたします。

また、マスクを忘れてしまった方がいた場合に備え、予備のマスクを用意いたします。

④ ソーシャルディスタンスの確保

講座中は参加者同士、保護者見学者同時の距離が近くなならないよう、間隔をあけた整列や配席に留意いたします。また、ソーシャルディスタンスの確保を促すサインを掲出し注意喚起を行います。

⑤ 換気の徹底

室内で講座を実施する場合、事前に換気方法について確認をし、当日実施場所に合わせて十分な換気ができるよう環境を整えます。

(3) 事後

① 講座参加後3日以内に感染が確認された場合のご報告依頼

講座参加後3日以内に新型症の陽性の確認がされた場合は、速やかに事務局へご連絡いただくよう、講座参加前の案内メールと当日の注意事項にてアナウンスをいたします。

参加者より事務局へ感染のご報告があった場合は、濃厚接触者の有無等を確認いたしますが、その後の対応方法についてはご発注後に支所様と協議の上決定いたします。

◆講座申込者・参加者の個人情報の安全管理

講座参加者との連絡、特に当落のメールを送信する際について、以下の当落メール送信時の運用マニュアルに基づき対応し、事故の原因となる人為的ミスが起こらないよう徹底いたします。

(1) 当落メールの送信

各当選者・落選者にメール送信を行う際は、
送信担当者とは別に共育担当者（他2名）によるメール内容、Bcc チェックの確認を行い、2名の承認後、メール送付を行う。

※メール送信は Bcc で行う

※赤坂支所の各担当者にも Bcc でメール送信を行う

※確認は、下記チェックリストを使用し、複数担当者で行う

令和5年度 共育事務局 メール送信前チェックリスト					
※個人情報の取り扱いには細心の注意を！					
講座名	カテゴリ	リスト作成 (参加対象・重複申込・兄弟確認)	当落送り先 重複確認	BCC確認 (送信前、必ず3名以上の目を通す)	送信者
アディダス	送付のご案内	高橋	-	高橋、野田、日高	高橋
	送付のご案内（小嶋様）	高橋	-	高橋、三島、日高	高橋
走り方講座	募集案内メール	野田	-	日高、高橋、野田	野田
	当選メール	三島、野田	野田	三島、野田、高橋	三島
	落選メール	三島、野田	野田	三島、野田、高橋	三島
SDGs講座	募集案内メール	-	-	-	-
	当選メール				
	落選メール				

※ 印刷はA4サイズ片面としてください。

※ 「BIZ UD ゴシック」12Pt 白黒で作成してください。